

聖路加国際病院 2023年度第2回医療安全監査委員会 監査結果概要

委員長：

相馬 孝博 (千葉大学医学部附属病院 医療安全担当副病院長 医療安全管理部 部長)

委員：

滝沢 牧子 (埼玉医科大学 総合医療センター医療安全対策室/医療安全管理学 教授)

豊田 郁子 (患者・家族と医療をつなぐNPO 法人架け橋 理事長)

中島 勸 (虎の門病院 医療安全部 部長)

渡邊 俊太郎 (翼法律事務所 弁護士)

開催日時： 2024年3月26日(金) 14:00~16:00

開催場所： 聖路加国際病院 研修室A

1、 監査事項

資料に基づき6つの議題について議論された。

- ・ 前回監査委員会の指摘事項への対応の報告
- ・ CVCステーションの開設
- ・ 病院重点目標：患者誤認に関するインシデント報告 前年度比50%減
- ・ 医療安全管理委員会 資料・議事録 (2023年8月~2024年2月)
- ・ 重大インシデント、RCA事例 議事録、報告書
- ・ 死亡症例を病院全体で振り返ったときの記録・報告

腎センター、10階東病棟、内視鏡室のラウンドを実施した。

2、 委員による評価および助言・提言と、当院の対応

- ・ 前回指摘事項への対応がされていることを確認した。
- ・ 検査・処置の鎮静時の体制では、受講管理をしていることは評価に値し、引き続き活動を進められたい。
- ・ 安全の確保に資する診療状況の把握のための指標では、今後は未然防止に資する指標についても引き続き検討されたい。さらに患者の視点も取り入れられれば、なお良いと考える。
→ 「未然防止に資する」という視点で、2024年度は次の4つの指標を選定した。①患者確認の順守状況 ②口頭オーダーの順守状況 ③タイムアウト・サインアウトの順守状況 ④薬剤の疑義照会状況
今後は患者の視点を取り入れることを検討していく。
- ・ CVCステーションの開設では、専用スペースが確保されたのは素晴らしく、今後はPICCの管理も視野に入れることを検討されたい。
→ CVCステーションの対象にPICCを含めることが可能か、CVC管理小委員会で検討する。
- ・ 患者誤認に関するインシデントについては、次年度は照合のステップを組み込んだ評価指標に改訂することに期待している。併せて身の回りの患者誤認に「気づいていく」ことを周知することも推奨される。
→ 従来から病院全体で患者確認状況調査を行っているが、2024年4月から質問項目を「2つの識別子で患者を確認し、“照合”を行ったか？」に改訂し、照合する手順に重きを置くこ

ととした。また患者誤認に関するインシデントを減らすという目標への活動を通じて、身の回りの患者誤認に「気づいていく」ことの意義について、2024年5月の医療安全推進者連絡会にて周知した。

- ・ ラウンドした内視鏡室では、介助に当たるスタッフとは別に鎮静下にある患者の観察に専念する人材の配置がされており、大変優れた取り組みである。

以上